

第6回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

(次 第)

日時：平成27年2月17日(火)14:00～

場所：大分市保健所6階 大会議室

1. 都市計画部次長 挨拶
2. 委員改選に伴う正副委員長の選出
3. 第6回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

○ 議 事

1. 今年度の取組状況について

(特定事業計画・関連事業計画・生活関連施設での取組状況・心のバリアフリーの取組状況)

2. バリアフリーに関する要望・苦情について

3. 平成27年度の年間予定について

4. 意見交換

第6回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会の結果（意見要約）

【委員改選に伴う正副委員長の選出結果】

- 委員長「鈴木義弘すずきよしひろ委員」 ●副委員長「西村謙司にしむらけんじ委員」

【協議会での意見】

- 今後も進捗管理をしっかりと行わなければならない
- 経済状況が厳しい中で民間事業者においてもバリアフリー化を推進していることは大変喜ばしい
- 毎年、大分県下全体において50校・3,000人程度の児童生徒を対象にユニバーサルデザイン出前講座を実施している
- 「ユニバーサルデザイン出前講座」及び「あったか・はーと駐車場」の大分市における実績値を提供してほしい
- 「心のバリアフリー」まで踏み込んで進捗管理を行うことは素晴らしい
- 市役所の音声案内について検討してほしい
- ホルトホール大分の階段から廊下への点字ブロックを整備してほしい
- 道路の段差（車道と歩道）については、車いす利用者は段差無しを望むが視覚障害者としては1センチでも段差があった方が分かりやすい
- 道路の段差（車道と歩道）については、全面的に段差を0にする、あるいは2センチにすると考えるから難しい
- 出入口、横断が必要な部分についてはフラットにする、それ以外は段差をつける、このような考え方を検討しては
例：2メートルある歩道の場合、車いす利用者のため1メートルをフラットに、もう1メートルは視覚障害者のために1センチの段差若しくは勾配を設置
- 音声案内や音響信号機の普及を望む（音を小さくするなど検討が必要）
- オアシスと県立美術館をつなぐ通路の点字ブロックの整備状況を確認してほしい
- コンビニなどは何処からでも車が出入りできる歩道切り下げになっていて危険
- 歩道切り下げ部に車止めを設置しているが視覚障害者からすると危険
- エスコートゾーン等の設置については、全体的なルール（ガイドライン・設置基準等）の作成を検討してみてもいい
- 県庁と城崎の間の歩道は、歩いていて自転車に恐怖を感じることもある
- 自転車と歩行者の事故件数・発生場所などの資料を今後は用意してほしい
- バリアフリーについては、企画・都市計画・福祉など総合的に検討する必要がある

- 貸出スクーター(タウンモビリティ)事業を検討してほしい
- 来年度の協議会は1回を予定しているが必要であれば別途開催することは可能
- バリアフリー基本構想は、バリアフリーの整備を行う事だけではなく都市計画的な観点から回遊することが出来るまちづくりを目指している
- バリアフリー事業については、南北軸の整備、中心市街地活性化事業などと相互の関係性を持ちながら進めていくべき

(閉会時間 15時30分)

